## 資料2

## 困難さの各領域に応じた学習上の支援機器等教材例

| 調布市教育委員会         |    |   |     |                |   |   |
|------------------|----|---|-----|----------------|---|---|
| 領域               |    | 質問事項  | 点数※ | _              | 情緒障害等通級指導教室における学習上の<br>支援機器等教材例(主として「治療教育的ア<br>プローチ」)   | 通常の学級における学習上の支援機器等教材例(主として「機能代替アプローチ」)  |
| 聞く               | 1  | 聞き間違いがある(「知った」を「行った」と聞き間違える)                                  | 0   | 1 ワーキングメモリートレー | 1 音声認識機能  |   |
|                  | 2  | 聞きもらしがある  | 0   |                |   | 2 録音機能 3 ノイズキャンセリングイヤホン   |
|                  | 3  | 個別に言われると聞き取れるが,集団場面では難しい                                      | 0   | 0              | 3 「機能代替アプローチ」とし   |   |
|                  | 4  | 指示の理解が難しい   | 0   |                | て活用する支援機器等教材<br>の使い方学習  |   |
|                  | 5  | 話し合いが難しい(話し合いの流れが理解できず,ついていけない)                               | 0   |                | 77.1  |   |
| 話す               | 6  | 適切な速さで話すことが難しい(たどたどしく話す。とても早口である)                             | 0   | 0              | 2 マッピング<br>3 アウトラインエディタ<br>4 コミュニケーション支援<br>5 「機能代替アプローチ」とし   | 1 音声読み上げ<br>2 キーボード入力<br>3 手書き機能  |
|                  | 7  | ことばにつまったりする   | 0   |                |   |   |
|                  | 8  | 単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をする                                      | 0   |                |   | 4 マッピング   |
| 7                | 9  | 思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい                                   | 0   |                |   | 5 アウトフィンエティタ<br> 6 コミュニケーション支援  |
|                  | 10 | 内容をわかりやすく伝えることが難しい  | 0   |                |   |   |
| 読む               | 11 | 初めて出てきた語や,普段あまり使わない語などを読み間違える                                 | 0   | 0              | 2 ビンヨントレーニングァブリ<br>3 ワーキングメモリトレーニング<br>4 読み取り学習支援アプリ<br>5 「機能代替アプローチ」として活用す                                       | 1 辞書機能<br>2 画像検索<br>3 拡大鏡<br>4 音声読み上げ<br>5 録音図書<br>6 デジタル教科書(電子データ)<br>7 音声付教科書(ペン対応)   |
|                  | 12 | 文中の語句や行を抜かしたり,または繰り返し読んだりする                                   | 0   |                |   |   |
|                  | 13 | 音読が遅い   | 0   |                |   |   |
|                  | 14 | 勝手読みがある(「いきました」を「いました」と読む)                                    | 0   |                |   |   |
|                  | 15 | 文章の要点を正しく読みとることが難しい   | 0   |                |   |   |
| 書く               | 16 | 読みにくい字を書く(字の形や大きさが整っていない。まっすぐに書けない)                           | 0   | 0              | 2 運筆練習アプリ<br>3 学習支援アプリ<br>4 「機能代替アプローチ」とし<br>て活用する支援機器等教材<br>の使い方学習   | <ul> <li>1 辞書アプリ</li> <li>2 キーボード入力</li> <li>3 手書き入力・手書き修正</li> <li>4 音声認識</li> <li>5 プリンタ印刷</li> <li>6 カメラ機能</li> <li>7 マッピング</li> <li>8 アウトラインエディタ</li> </ul> |
|                  | 17 | 独特の筆順で書く  | 0   |                |   |   |
|                  | 18 | 漢字の細かい部分を書き間違える   | 0   |                |   |   |
|                  | 19 | 句読点が抜けたり,正しく打つことができない   | 0   |                |   |   |
|                  | 20 | 限られた量の作文や, 決まったパターンの文章しか書かない                                  | 0   |                |   |   |
| 計算する             | 21 | 学年相応の数の意味や表し方についての理解が難しい                                      | 0   | 1              | 1 学習支援アプリ<br>2 「機能代替アプローチ」とし  | 1 計算機   |
|                  |    | 簡単な計算が暗算でできない   | 0   |                |   |   |
|                  | 23 | 計算をするのにとても時間がかかる  | 0   | 0              |   | 0 丰井又版  |
|                  | 24 | 答えを得るのにいくつかの手続きを要する問題を解くのが難しい                                 | 0   | -              |   |   |
|                  | 25 | 学年相応の文章題を解くのが難しい  | 0   |                |   |   |
| 推論する             | 26 | 学年相応の量を比較することや,量を表す単位を理解することが難しい                              | 0   | 0              | 2 「機能代替アプローチ」として活用する支援機器等教材の使い方学習   | <ul><li>1 手書き入力・手書き修正</li><li>2 スケジュール管理</li><li>3 カメラ機能</li></ul>  |
|                  | 27 | 学年相応の図形を描くことが難しい  | 0   |                |   |   |
|                  | 28 | 事物の因果関係を理解することが難しい  | 0   |                |   | 4 マッピング   |
|                  | 29 | 目的に沿って行動を計画し、必要に応じてそれを修正することが難しい                              | 0   |                |   | 5 アウトラインエディタ  |
|                  | 30 | 早合点や、飛躍した考えをする  | 0   |                |   |   |
| 不<br>注<br>意      | 31 | 学校での勉強で、細かいところまで注意を払わなかったり、不注意な間違いをしたりする                      | 0   | 0              | 2 興味・関心を広げるアプリ<br>の導入<br>3 「機能代替アプローチ」とし<br>て活用する支援機器等教材<br>の使い方学習  | 3 スケジュール管理  |
|                  | 32 | 課題や遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい                                      | 0   |                |   |   |
|                  | 33 | 指示に従えず,また仕事を最後までやり遂げられない                                      | 0   |                |   |   |
|                  | 34 | 学習課題や活動を順序立てて行うことが難しい   | 0   |                |   |   |
|                  | 35 | 学習課題や活動に必要な物をなくしてしまう  | 0   |                |   |   |
| 多<br>動<br>・<br>衝 |    | 手足をそわそわ動かしたり,着席していても,もじもじしたりする                                | 0   | 0              | 2 「機能代替アプローチ」として活用する支援機器等教材の使い方学習   | 2 メモ機能によるソーシャルスキ<br>ル想起   |
|                  |    | 授業中や座っているべき時に席を離れてしまう   | 0   |                |   |   |
|                  | _  | 質問が終わらない内に出し抜けに答えてしまう   | 0   |                |   | 3 タイマー機能  |
| 動<br>性           |    | 順番を待つのが難しい  | 0   |                |   |   |
| 14               | 1  | 他の人がしていることをさえぎったり、じゃましたりする                                    | 0   |                |   | 1 J工機能にしていまった。  |
| コミュニケーシ          |    | 他の子どもは興味を持たないものに興味があり、自分だけの知識世界を持っている                         | H   |                | <ul><li>1 録画機能によるソーシャルスキルトレーニング</li><li>2 興味・関心を広げる・深めるアプリの導入</li><li>3 「機能代替アプローチ」として活用する支援機器等教材の使い方学習</li></ul> | 1 メモ機能によるソーシャルスキ<br> ル想起  |
|                  |    | 特定の分野の知識を蓄えているが、丸暗記であり、意味をきちんとは理解していない                        | 0   |                |   | 2 アンガーログ  |
|                  |    | 会話が形式的で抑揚なく話したり,間合いがとれなかったりする                                 | 0   | 0              |   |   |
| э •              |    | ある行動や考えに強くこだわり、簡単な日常の活動ができなくなることがある                           | 0   |                |   |   |
| ン                |    | 自分なりに独特な日課や手順があり変更や変化を嫌がる                                     | 0   |                |   | 1 146 614   |
| 社対<br>会人<br>性・   |    | とても得意なことがある一方で極端に不得手なものがある。                                   | 0   | 4              | 1 興味・関心を広げる・深め<br> るアプリの導入  | 1 メモ機能によるソーシャルスキル想起   |
|                  |    | いろいろな事を話すが、その時の場面や相手の感情や立場を理解しない                              | 0   |                | 2 録画機能によるソーシャル  |   |
|                  |    | 友達と仲良くなりたいという気持ちはあるが関係をうまく築けない                                | 0   |                | スキルトレーニング<br>3 「機能代替アプローチ」とし  |   |
| 1-1-             | _  | 仲の良い友達がいない  | 0   | <u> </u>       | て活用する支援機器等教材  |   |
|                  | 50 | ある行動や考えに強くこだわり,簡単な日常の活動ができなくなることがある<br>※質問事項に対して「O:ない,1:まれにある | Щ   |                | の使い方学習  | ATIN - 01   |

※質問事項に対して「O:ない、1:まれにある、2:ときどきある、3:よくある」を入力し、領域ごとの困難さを把握する。

引用文献:「小・中学校における発達障害のある子どもへの教科教育等の支援に関する研究」、国立特別支援教育総合研究所、2010

参考文献:「学校でのICT利用による読み書き支援ー合理的配慮のための具体的な実践」,近藤武夫編,金子書房,2016